

合い言葉は

全国へ伝えよう！平塚の魅力

手をつなぎたくなる街 湘南ひらつか

「平塚ってどんなところ？」この質問に皆さんだったら何と答えるでしょうか。全国的には「七夕のまち」「湘南ベルマーレのホームタウン」「箱根駅伝の中継所」などで知られている平塚市。皆さんは、全国の人に平塚の魅力をどう伝えますか？

問 秘書広報課 ☎21-8556

平塚の魅力って何だろう？

「やっぱり、海と山があるところでしょう！」
「公園とか子どもの遊び場がたくさんあるのがうれしいですよね」

それぞれが思い思いに語る平塚の魅力。今号の広報ひらつかの特集に合わせて、総合公園や平塚駅前、ららぽーと湘南平塚、東海大学などで、市内在住・在勤・在学の方を対象に、「平塚の魅力」をテーマに「突撃！街頭インタビュー」をしました。

「平塚の魅力？ うーん。急に聞かれてもなあ。中には、突然の質問に首を傾げ、考え込む方たちも。広い公園、豊かな自然、充実した文化・スポーツ施設……。あなたがイメージする平塚の魅力は？」

温かなつながり

市は平成28年度に東京都や神奈川県在住の20〜79歳の方

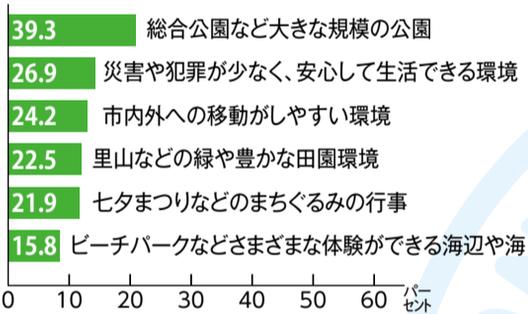
939人を対象に平塚のイメージを調査しました。結果は33.2割の方が「庶民的である」と回答しています。平塚は湘南地区のほかの都市と比べると庶民的で親しみやすい。だからこそ、人との温かなつながりを感じ、大切な人との絆を育みながら暮らせるまちではないでしょうか。

この「人と人の距離」に着目し、市では昨年7月、『手をつなぎたくなる街 湘南ひらつか』をスローガンとして掲げ、市の魅力を全国へ発信するシティプロモーションを進めています。

子育て世代へ 魅力アップ

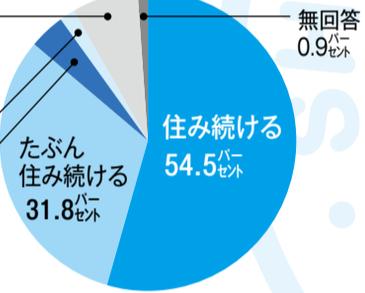
市民を対象に行った市民意識調査(左グラフ)では、「今後も平塚市に住み続けようと思いませんか」の問いに、86.3割の市民が「住み続ける」「た

平塚市に魅力や誇りを感じることは？



※平成28年に16歳以上の市民3,000人を対象にした市民意識調査の結果。※上グラフは複数回答のため、100%を超えます。

あなたは、今後も平塚市に住み続けようと思えますか？



平塚の人口は、22年11月の26万863人をピークに減少し、29年4月1日現在、25万7787人となっています。一方、転出者数が転入者数を上回る状況が19年以降、続いていましたが、28年に転入超過となり、人口減少に下げ止まりの兆しが見えてきました。まちを持続させていくためには、「社会を支える働く世代」が欠かせません。特に子育て世代から「選ばれるまち」に住み続けるまちになるために、平塚の認知度や好感度を上げていく必要があります。



ビーチパークでも街頭インタビュー

子育て世代を応援！

平塚っ子のびのびサポート

妊娠から出産、子育てまでをサポートする体制を強化している市では、中学校3年生までの入院・通院医療費の自己負担分が無料です(小学生以上は所得制限あり)。これは、湘南地区の市で初の試みです。また、市民病院の産科には、「周産期センター」を設置。母子ともに生命に関わる事態が発生しやすい出産前後に、小児科と連携し、対応することができます。

また、美術館や博物館などの文化施設、総合公園内にあるShonanBMWスタジアム平塚などのスポーツ施設も充実。市内の小学生はドリームパスポートを使って、Jリーグやイースタン・リーグ、Bリーグの試合を無料で観戦できます。



美術館では創造力や学びを刺激する教室を開いています

こんなところにも

「手をつなぎたくなる街 湘南ひらつか」の ロゴマーク みつけ！

「ギョツとつないだ手で、一つの輪を作る」ことで、「人と人の輪がもっと広がり、人と人の和がずっと続く」ことをイメージした手をつなぎたくなる街のロゴマーク。市内企業でも、ロゴマークを使ったPRが広がっています。

老舗の衣料品店「片野屋」(紅谷町11-14)は、ロゴマークなどをプリントした5



色のTシャツ(左下写真)を販売しています。「つるや製菓」(紅谷町2-27)は平塚で長年親しまれる都まんじゅうに、5個につき1個程度、ロゴマークの焼き印を手押しして販売(右下写真)。

皆さんもロゴマークを使ってみませんか。詳しくは秘書広報課シティプロモーション担当 ☎21-8556へ。



私の平塚ススめ

市では昨年夏に、「手をつなぎたくなる街 湘南ひらつか」のロゴマークを作り、写真共有SNSのインスタグラムを使った「#hiratsukagoodフォトキャンペーン」を展開。また、PR動画を制作するなど、市内外に向けて、本格的なシテイプロモーション活動を始めました。その際に大きな支えとなったのが、「平塚」を愛する市民の力でした。

海へつながるストリートの魅力

サーフショップ経営 剣持良輔さん

「平塚の魅力は海などの豊かな自然ですね」と話すのは、サーフショップ「MO3Store」（松風町14-10-6）オーナー、剣持良輔さん。YouTubeなどで公開している市のPR動画「#hiratsukagood」に出演し、平塚の海の魅力を伝えています。「爽やかな風と波の音。近すぎて忘れてしまいがちですが、海は平塚の象徴の一つです。」

イベントで人つなぎ

剣持さんが営むお店は、5年前まで、平塚駅南口広場から海岸に伸びる「扇の松海岸通り」の商店街にありました。「子どものころは、遠足のお



お店から歩いてすぐの海岸でサーフィンを楽しむ剣持さん



プロサーファーとしても活躍

菓子を買いに行く商店街だったんです」と思い出を語る剣持さん。「商店街の活性化のために」と、平成19年に商店街の店舗と協力し、フリーマーケット「扇の松の市」を開きました。ほかにも、通りの道沿いに花壇を作るなど、平塚駅から海岸へと続く道の魅力づくりを進めています。「扇の松の市を開いてうれしかったことは、地域の方とのつながりができたことです」。以来、地域の方から声を掛けられるようになったと言います。「環境を整え、イベントなどを開けば、人と人がつながれる、魅力的な平塚が続いていくのではないのでしょうか」と今後もさまざまな企画を進めていきます。

ライターからのぞく平塚

インスタグラム投稿者 富木沙織さん

「娘が生まれたのをきっかけに写真を撮るようになったんです」と話すのは、市内に暮らす富木沙織さん。イシックス馬入のお花畑（ひらつかサン・ライフアリーナ東側）や花菜ガーデン（寺田縄496-1）などに、小学校4年生の娘を連れて出掛けては、成長の記録に撮影しています。「市内には季節を感じ取れる花の名所がたくさんあるし、富士山もきれいに見える！」さまざまな撮影スポットに恵まれて、カメラ好きにはうれしいですね」と愛用のフィルムカメラのシャッターを切る富木さん。



イシックス馬入のお花畑で撮影した富木さんの写真はsaco_apricotで検索

SNSから広がる輪

富木さんは、平成22年から撮りためた写真をブログに掲



「娘のいる景色ごと残したい」と総合公園で撮影する富木さん(右)

載。25年ごろからはインスタグラムに投稿しています。ある時、昼食をとろうと、職場近くのお店に入ったときに、目に留まった「#hiratsukagoodフォトキャンペーン（下囲み）」のポスター。「面白そう」と、ハッシュタグをつけて投稿しました。以来、約60枚の写真を投稿しています。「#hiratsukagoodのハッシュタグをつけてから私も平塚に住んでいるんです」とか「写真が好きなんです」といったメッセージをもらえるようになり、友達も増えました」とほほ笑む富木さん。今ではインスタグラムで知り合った方と、市内の名所を一緒に撮影して回るようになりました。「これからもインスタグラムにきれいな写真を投稿して、市内に住む写真好きの方と、もっともつとつながっていきたいです。そして、グループをつくって市内を一緒に撮影できたら楽しいですね」と笑顔を見せます。

平塚好きの集まり

フェイスブック「平塚が大好き」 管理部 松井昭憲さん

「80歳代の高齢者や姉妹都市の米国ローレンス市の方も入っているよ」と、フェイスブックのグループ『平塚が大好き』管理部の一人、松井昭憲さん（写真）は話します。平成26年に立ち上がった『平塚が大好き』は、イベントや市内にあるお店、絶景スポットなど、平塚関連の情報を約5,400人のメンバーが投稿しています。松井さんは、多い時には40件ほどの投稿を随時チェックしています。

「平塚で生まれ育ったからには、どんな形でも貢献していけたらと続けています。管理して分かったことは、市内で毎週のようにイベントが開かれていること。平塚の人はお祭り好きなんだよね」と魅力を語ります。



「ギュッとつないだ手」

今すぐ投稿

#hiratsukagood フォトキャンペーン第2弾

昨年7月から始め、7,000件以上の投稿が集まる、インスタグラム「#hiratsukagoodフォトキャンペーン」。今回は第2弾として「ギュッとつないだ手」をテーマに撮影した写真を、5月19日（金）から募集します。「#hiratsukagood」のハッシュタグを付けて投稿しましょう。投稿写真は市役所本館などで開く写真展で展示します。詳しくは市ウェブをご覧ください。

☎ 秘書広報課 ☎21-8556



募 集

応募方法は
下段

特別支援学級の介助員

市立小学校の特別支援学級で子どもたちの医療的ケアや介助をします。

20歳以上の方。1年間の登録制です。勤務は、年間11日以内で、月12日以内、1日6時間30分です。時給1310円。

写真を貼った市販の履歴書と、医師または看護師資格を証明するもの(原本)を、事前連絡の上、本人が直接、平成30年3月30日(金)までの平日、午前8時30分～午後5時に、浅間町4-39子ども教育相談センター ☎36-6012へ。

友好都市と交流を楽しもう

市内在学の小学校5・6年生。抽選。いずれか一つの参加です。

少年少女交流キャンプ 岩手県花巻市で、同市の友好都市・

青森県十和田市と3市合同でキャンプをします。8月2日(水)～4日(金)。平塚・花巻交流の森(花巻市金矢5)。男女各9人(昨年参加した方は参加できません)。2万1000円。

ふるさと学級 静岡県伊豆市の小学生と一緒に、同市内に泊まり、交流を深めます。

7月26日(水)・27日(木)。天城ふるさと広場(伊豆市上船原112001)など。男女各10人。6000円。

小学校で配る申込書を、郵送で、6月2日(金)までに、〒254-0031天沼7-8文化・交流課 ☎25-2520へ。市ウェブからも申し込みます。

テクノフェアの出展者 製品や技術をPRして、販路拡大に生かしませんか。10月26日(木)～28日(土)、午前10時～午後5時(28日は午前10時～午後5時)は



多くの企業や団体の参加をお待ちしています

父の日特製ピザを作ろう

ピザの下ごしらえをします。記念写真も撮ります。

6月18日(日)午前10時～午後1時。中央公民館。市内在住の小学校3～6年生と男性

景観パネル展

6月1日は景観の日です。景観づくりなど、景観を身近に感じることができる、具体的な取り組みを紹介します。

5月29日(月)～6月2日(金)、午前8時30分～午後5時(5月29日は午前10時から、6月2日は午後4時30分まで)。本館1階多目的スペース。

まちづくり政策課 ☎21-8781



景観づくりの事例を紹介します

子育て支援の会員

ファミリー・サポート・センターの会員になり、子育て支援をしませんか。

地域で育児の援助を受けた方と援助をしたい方が会員となり、育児をサポートする組織です。支援活動では子どもを、保育所などに送迎したり、保護者が急病の時などに預かったりします。産後間もない家庭の家事手伝いなどもあります。

会員になる方はオリエンテーションと講習会に必ず参加してください。福祉会館。

①説明会 6月12日(月)、午前10時～11時30分・午後1

不登校・ひきこもりの改善と自立支援

相談や意見交換などができます。

6月3日(土)午前10時～午後5時。青少年相談室。未成年の不登校・ひきこもりに関する保護者ら8人程度(先着順)。

消費者教育の講演会

消費者問題に関する実践的な話をします。

6月20日(火)午後3時～、

応募方法

募=応募方法 (応募が必要です)

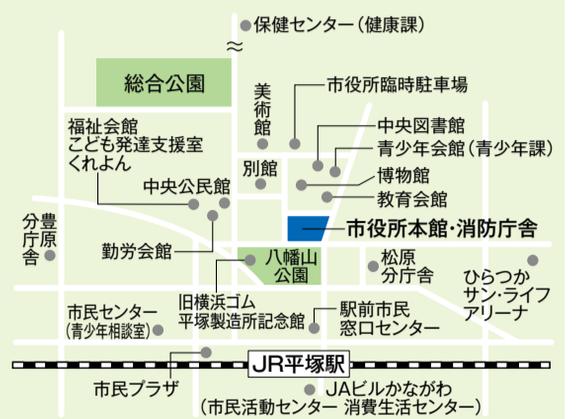
問=問い合わせ

必要事項とある場合、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号をご記入ください。

市役所への郵便物は、〒254-8686平塚市役所〇〇課で届きます。

募集開始日の記載がない場合、5月22日(月)午前8時30分から、受け付けます。

メールの応募の場合 ☎以下に city.hiratsuka.kanagawa.jp を付けてください。



記入例

往復はがき	郵送・ファクス・メール
住所氏名	イベント名 郵便番号 住所 全員の氏名 電話番号 その他の事項
返信	イベント名 郵便番号 住所 全員の氏名 電話番号 その他の事項

フラメンコ・アンダルシア

情熱的な音楽やダンスを楽しみませんか。8月6日(日)午後3時開演。中央公民館。全席指定。2,000円。



夏の思い出にフラメンコを鑑賞しませんか

チケットは5月27日(土)午前10時から、市民センターの文化事業課 ☎32-2237で販売します。電話予約は30日(火)午前8時30分から文化事業課へ。

まちづくり財団文化事業課 ☎32-2237